

取組名称：データ主導による自律する学生の学び支援型の教育プログラムの構築と学習成果の測定による大学間連携
構成大学：関西国際大学、神戸親和女子大学、比治山大学、比治山大学短期大学部

概要

社会からは**質保証**、すなわち、卒業者が学士号に相応した“**自律した学習者**”として、知識・スキル・素養などを持ち備えた“**21世紀型市民**”が求められている。情報収集・調査分析などをデータ主導とした、**自律する学生の学びの支援**と、それらの活動による教育効果測定の基盤を組織的・重層的に構築する。**学生・学習支援**の情報収集・調査分析手法の確立に加え、新たな教育・学習支援法や教育評価・効果測定法の開発により、**学生・学習支援**の質的な向上・改善を図るとともに、大学卒業者の自律的成長と成功に寄与する。

目的

学部構成が類似する4大学が相互支援することで「**学習支援型IR**」のデータが構築できる。「**学習支援型IR**」の活用により、質量共に豊富なデータ群の分析が可能となり、より効果的な学生・学習支援が実現する。開発された効果的なプログラムを用いて、4大学の連携取組の充実・発展を図る。さらに大学教育全体に広めていくことにより、社会が要請する“**自律した学習者**”の育成を強化し、学生の**質保証**を図る。

効果

- ◆各大学が保有する教育プログラムの相互利用
- ◆スタディ・スキルなどの要素のプログラムの共同開発
- ◆遠隔講義システムを活用することにより、各大学での個別開講は不要となり、学生の相互交流までもが可能となる効率的なシステムになる
- ◆各プログラムで実施された、裏付けのあるデータを分析することにより、教育の質の改善・向上を図ることができる
- ◆本取組での成果が、学生・学習支援を強化しようとする大学等にも、実証的な例を示すことが可能になる

